

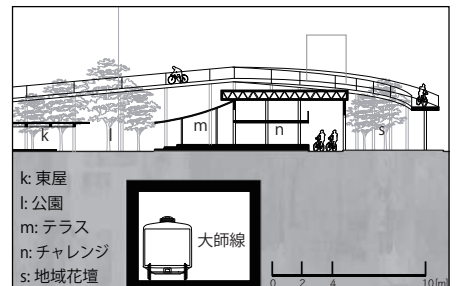
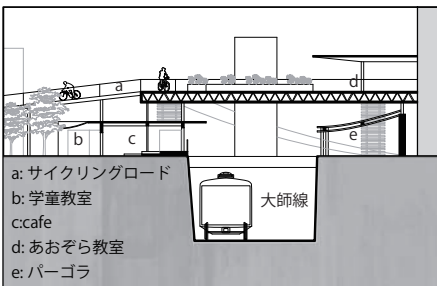
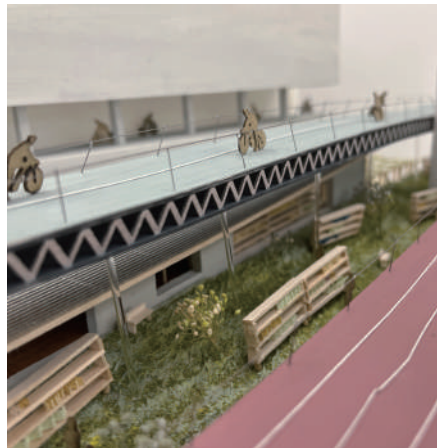
1.3kmの線状空間の再考 連鎖型生活景を生み出す線状建築の提案

山家研究室名 林 眞太郎

研究概要：京浜急行大師線東門前駅～小島新田駅区間の線路跡地を対象に、街に点状的な建築の介入ではなく、線状空間を取り巻く要素別分析から創出した街の節を中心に新たな街の骨格となる移動空間を計画した。街の出来事など、生活景が連鎖する1本の連続した線状建築の介入の提案である。

研究目的：近年の都市環境改善に伴い鉄道路線の地下化の影響から、存在する線状空間を再考し、新たな役割を与えた線状建築の在り方を追求することを目的とする。

研究成果：



苦労した点や感想など：

線状という帯のように長い敷地での設計は、様々なエリアを横断していることから、それぞれの場所よっての空間構成と一本の連続した建築の全体構成と、双方の構成をすり合わせて考えていくことに苦労しました。

ご指導いただきました先生方、ありがとうございました。